

仮設等

大会のための施設や設備を整備

新設の競技会場(8施設)、既存の競技会場(22施設)、仮設の競技会場(9施設)について、運営用のプレハブ・テント、放送用の照明などのオーバーレイ、観客用座席、セキュリティフェンス、競技スペースなどの仮設インフラを追加整備する。

仮設の競技会場

有明体操競技場・ビーチバレー 等 9施設

運営用のプレハブ・テント

30万㎡

放送用の照明

屋内・屋外会場 25施設

ウォームアップエリア

新国立サブトラック 等 9か所

観客用の座席

仮設 15万席
(全観客席 70万席)

電源

発電機 20万kVA
電源ケーブル 1,500km
無停電電源装置(UPS) 2万kVA

植栽・トイレ

芝・低木 8万㎡ 中高木 1万本
トイレ 5,000個
多目的トイレ 400個

セキュリティフェンス

110km

※現時点の積算上の数量・人数等

今後の検討事項

コストカット

資材単価、スペック、テストイベントの規模について
引き続き精査

リデュース、リユース、リサイクル

引き続き、レガシー化の検討、追加設備の必要性
を精査

競技施設追加等に伴う経費増

競技施設・練習会場の追加、暑さ対策等に伴う
仮設等の経費が増加見込み